

施策評価調書

1 施策の概要

(1)	施策名	情報技術の活用の推進					
(2)	総合計画の体系	第 2 章	市民自治が育む自立のまちづくり				
		第 2 節	情報の共有化を進めるまちづくり				
		第 10 細節	情報技術の活用の推進				
(3)	事業費など (単位:千円)	項目\年度(平成)		26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額	
		事業費(A)		5,262	4,916	4,730	
		従事職員数		1.00 人	1.00 人	1.00 人	
		所要人件費(B)		7,947	8,352	8,170	
		総事業費(A+B)		13,209	13,268	12,900	
		財源内訳	収入	国庫支出金	0	0	0
				府支出金	0	0	0
				その他	794	846	883
			市負担	地方債	0	0	0
				その他	0	0	0
一般財源	12,415			12,422	12,017		

2 評価の指標(施策に係る成果指標)

指標項目		項目\年度(平成)	26年度実績	27年度実績	28年度計画
指標内容	電子入札件数(工事及び工事関連業務委託)	目標値 (単位:件)	270.00	282.00	268.00
		実績値 (単位:件)	113.00	181.00	
目標値の積算方法	発注要領の基準に基づく件数(工事は予定価格の250万円以上、工事関連業務委託は予定価格100万円以上の入札案件)	達成度(%)	41.9	64.2	
指標内容		目標値 (単位:)	0.00	0.00	0.00
		実績値 (単位:)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		達成度(%)	0.0	0.0	

3 施策の点検(施策を進めるうえでの課題)

電子入札システムは、現在、府内15市で共同運営を行っており、本市においては一般競争入札のみで実施している。また、一般競争入札は、指名競争入札と比較すると公告から業者の決定までに時間を要するが、手続を見直す等によりその差は小さくなっている。今後、この事業の有効性を高めるため、その対象額の引き下げ(平成28年度から、工事関連業務委託については予定価格300万円から100万円に引き下げ済み。)や指名競争入札への利用拡大など対象範囲を広げることについて、検討していかなければならない。

4 施策の評価

次年度の 優先 順位	施策を構成する 事務事業名	室課名	事業 番号	市 単 独 事 業 区 分	施 策 へ の 貢 献 度	各視点からの評価 (20 → 4) 高 → 低					合 計	今 後 の 方 向 性 (実 施 計 画)
						妥 当 性	有 効 性	効 率 性	公 平 性	持 続 可 能 性		
1	電子入札システム事業	契約検査室	00061	全 部	中	18	14	18	18	20	88	継 続
2											0	
3											0	
4											0	
5											0	
6											0	
7											0	
8											0	
9											0	
10											0	
11											0	
12											0	
13											0	
14											0	
優先順位をつけるに あたっての考え方												